

2023

11
18
(sat)

2023 年度 NPO 講座 ②



市民活動団体のための

補助金・助成金 活用術



「活動資金が不足している」

「補助金終了後に、どうやって事業を継続していったらよいか悩んでいる」

「助成金にチャレンジしたいけど、事業企画や予算の立て方がわからない」



そんな お金の悩みを抱える団体、
これから活動をはじめたい団体向けの講座です。

茅ヶ崎市の“市民活動げんき基金補助制度”の紹介もあります。
(11月より、令和6(2024)年度実施事業の募集開始！)



日 時 2023 年 11 月 18 日(土) 14:00~16:00

場 所 ちがさき市民活動サポートセンター フリースペース大

参加費 500 円

定 員 30 名

講 師 はやかわ ひとみ 早川 仁美 さん (地域のお茶の間研究所 さらんどて 事務局)
茅ヶ崎市職員(くらし安全部 市民自治推進課 協働推進担当)

対 象 市民活動団体・NPO、地域の自治会等地縁団体などの非営利活動団体

そ の 他 手話・筆記通訳、託児 3 名 (生後半～3 歳)
ご希望の方は、11/1(水)までに要申込/先着順で受付けます。

申込方法 右のQRコード または サポセンHP申込フォームより
裏面の申込書に必要事項を記入のうえ、メール・電話でも OK

お申込みコチラ



問合せ
申込み

ちがさき市民活動サポートセンター
 Chigasaki Support Center (茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7)

Tel/Fax :0467-88-7546(代)
E-mail:s-center@pluto.plala.or.jp
公式 HP :https://sapocen.net/

講座内容

「食」を中心とした居場所やひとり親支援など、地域の課題解決につながる事業を次々と展開している“地域のお茶の間研究所さろんどて”。

2015～2017年度までの「げんき基金補助制度(ステップアップ支援)」をはじめ、数々の民間助成金を上手に活用しながら、活動を発展させてきました。

この講座では、これまでの実践的な取り組みについてお話いただき、今の資金不足を解消するだけではなく、団体を成長させるための補助金・助成金の使い方や、事業企画作成のポイント、ファンドレイジングについて学びます。自分たちが持っている「資源」や「強み」は何かふりかえりながら、持続可能な活動にするためのネットワークの広げ方や、団体運営について一緒に考えていきましょう。

講師紹介

はやかわひとみ

早川 仁美 さん (地域のお茶の間研究所 さろんどて事務局)



静岡県浜松市生まれ 現在60歳。夫の転勤に伴い4県5市で子育てする。

3人の子育て中に、幼稚園や小中高のPTA、ガールスカウト、子供会や、生活クラブ生協の活動をしてきた。2008年に保育ワーカーとなり、2010年“NPO法人ワークレたんぽぽひろば”、2012年地域の“お茶の間研究所さろんどて”を立ち上げ。現在は、市議会議員を務めながら、保護司、地域のお茶の間研究所さろんどて事務局、神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク世話人、防災リーダー、まちぢから協議会の子ども部会の活動をしている。

おもな活動

- ・地域の居場所「さいとうさんち」「かんさんち」
- ・本村こども食堂「いただきます」
- ・傾聴講座
- ・フードパントリー

さろんどて
公式 HP

“地域のお茶の間研究所さろんどて”は、様々な世代の居場所をつくり、地域でのつながりを目指しています。

参加申込書

必要事項をご記入のうえ、下記 問合せ先までメール添付・お電話にて受付。

※チラシ表面の QR コード、サポセン公式 HP の申込フォームからお申込みいただけます。

【個人情報について】提供された個人情報は当事業に関する連絡にのみ利用します。

2023 NPO 講座 2 11/18(土)「補助金・助成金 活用術」			
ふりがな お名前		所属	
連絡先		メール	
住所(〇〇市〇〇町まで、番地不要)			
※ 以下希望するものに <input checked="" type="checkbox"/> 、11/1(水)までにお申込みください。			
<input type="checkbox"/> 手話通訳 / <input type="checkbox"/> 筆記通訳 / <input type="checkbox"/> 託児希望 (先着 3 名/生後半年～3 歳)			
通信・コメント欄			

問合せ先> ちがさき市民活動サポートセンター

メール:s-center@pluto.plala.or.jp Tel/Fax:0467-88-7546